

小中一貫教育目標	「自ら学び 考え 自立した行動ができる『きさ』の子ども」の育成	経営理念	○ミッション ・子供の命を守る（生存権の保障） ・子供に生きる力をつける（学習権の保障） ・子供も教職員も幸せになる（Well Being） ○ビジョン～愛で笑顔あふれる学校～ ・知・徳・体の「基礎・基本」を身に付け、社会でたくましく生きる力を育てる学校 ・地域を愛し、誇りに思い、地域と協働し、より良い社会を築く志を育てる学校	A 適切である B 概ね適切である C あまり適切でない D 全く適切でない (N 判定できない)
学校教育目標	自ら学び 考え 自立した行動ができる『きさ』の子どもを育成する学校			

評価計画							自己評価						学校関係者評価	
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方法	評価指標	目標値	達成値		達成度	評価	分析（成果と課題）	改善方策	評価	記述
							中間	最終						
確かな学力		確かな学力の定着と主体的・対話的で深い学びの実現	基礎的・基本的な知識・技能の定着	・児童のつまづきを分析するとともに、各教科の特性を生かした指導を工夫改善し、国語科では、10の観点読み、算数科では考え方モンスターを活用することで、児童の「わかる・できる」を保障する。 ・ドリルタイムを活用し、基礎的な技能の習得や復習を図る。 ・児童一人一人の実態に応じた家庭学習の課題を工夫する。 ・ICTを活用し、個別最適な学びを保障する。	・国語科・算数科の単元テストで平均点が目標値を上回った学年の割合を85%以上にする。 ・三次市学力到達度検査（基礎・活用）で全国平均を上回った教科数の割合を85%以上にする。	単元85% 市85%								
			「表現力」の育成	・ペア、グループ、一斉学習といろいろな形態で考えを伝える場を設定する。 ・研究授業を中心に話し合い活動の充実のさせ方について職員で協議する。 ・考えを書く、学習の振り返りを視点をもって考える時間を確保する。	・児童アンケート「授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えが深まったと感じる。（理由が思いついた、考えに自信が持てた、説明の仕方が分かったなど）」の項目について肯定的な評価を93%以上にする。	93%								
豊かな心		主体的に表現しようとする児童生徒の育成	自己有用感の向上	・縦割り班での掃除やレク、行事などで他学年と関わる機会を充実させ、自己有用感をもつことができる取組を児童会・委員会と協力して行う。	・道徳アンケートで、自己有用感に肯定的な評価をする児童を90%以上にする。	90%								
			規範意識の醸成	・あいさつ、返事、学びの習慣（時間を守る）を身につけた児童を育成する。委員会活動を中心に全校に意識化を呼びかけ、児童が主体的に取り組む活動を推進する。 ・児童・教職員アンケートを実施分析し、取組を考える。	・児童アンケートで、規範意識を肯定的な評価をする児童を90%以上にする。	90%								
健やかな体		健康の保持増進と体力の向上	生活習慣の確立	・メディアコントロールウィークを設定し、自己評価する。 ・給食の時間や各教科等の時間を活用して食に関する指導を行い、食に関する興味・関心を高める。食に関する情報を定期的に発信し、全教職員で食育を推進していく。	・メディアに触れている時間の目標を個人で設定し、達成できた児童を80%以上にする。 ・食品の名前や栄養素の働きを理解し、食べ物を好き嫌いせずに食べることができる児童を80%以上にする。	メディア80% 食80%								
			体力の向上	・新体力テストの県平均、全国平均や昨年度の自己記録をもとに、自己目標を設定させる。 ・体育科を中心にサーキットなどの体づくり運動に取り組む。 ・朝会の時間を使って持久走やなわとび練習などをする。	・新体力テストで、各学年8項目中4項目が県平均または全国平均を超えるようにする。 ・2学期以降新体力テストで県平均または全国平均を下回った2項目を全校で実施する。	4項目								
信頼される学校		地域・保護者から信頼され期待される学校づくり	地域とともにある学校づくり	・CSの取組を進め、保育所、小学校、中学校、高等学校、地域の各種団体との連携を図る。 ・学校だよりやHP等を活用した情報発信を積極的に行う。	・保、小、中、高や地域との交流活動を通して、成長したと肯定的評価をする児童を80%以上にする。 ・保護者アンケートで情報発信に係る肯定的評価を90%以上にする。	交流80% 情報90%								
			働き方改革の推進	・半期ごとにアンケート等で実態を把握し、学校衛生委員会や企画委員会を中心に取組を推進する。	・児童に向き合う時間があると実感する教職員の割合を80%以上にする。	80%								

【自己評価】 A：達成度100以上（目標達成） , B：80≦達成度<100（ほぼ達成） , C：60≦達成度<80（もう少し） , D：達成度60以下（できていない）